

長年使わずホコリのかぶった物、不要な物ありませんか？

～片付けから始めるGAP～



胆振農業改良普及センター

使う物と使わない物が混在していると探す手間や物の出し入れがスムーズにできないなど作業効率が下がる原因にもなります。不要品の廃棄と整理整頓で作業効率の改善を図りましょう。

①まずは分類してみる

使用頻度で一時分類するのも片付けの手がかりになります（右図）。まずは工具置き場や資材置き場など、一つの場所からでも始めてみましょう。

使用頻度で分類

- ① 使う物
- ② 使うか使わないか分からない物
- ③ もう使わない物
- ④ 使わないが取っておきたい物

②不要な物は思い切って処分

片付けを行う際「捨てる」という作業は必ず発生します。しかし「捨てる」のは意外と勇気や決断力があるかもしれません。「ほこりまみれの物は使っていないと考えて処分」「〇年使っていない物は思い切って処分」など農場内でルールを決め進めていきましょう。

③物に専用の指定席を決める

どの場所に、何の目的で、どのような物を格納すべきかを意識しながら、片付ける位置を決めていきましょう。また、格納方法の工夫やラベルの貼りつけなど「使用後に道具を戻しやすくする」事が継続につながります。

棚の上には使用していない資材や廃プラが収納。



取り組み前

棚に薬品が置かれたり、燃料タンクが重ねて保管されていた。



取り組み後

棚の上の物品を整理。特に廃プラは地域により分別・回収方法が異なるため適正に処理を。

スチール棚を設置し、燃料類をまとめて保管。タンクも重ならないよう配置。